革新の風 FAXニュース８７９号

２０２６年11月17日　　全国革新懇事務室

TEL03−6447−4334　FAX03−3470−1185

Eメール zenkoku@kakushinkon.org

〈党利党略の民意切り捨て〉

比例定数削減を許さない

全国革新懇が緊急街頭宣伝

自民、維新、国民の３党が衆院比例定数の削減法案を提出した翌日の11月13日、全国革新懇は東京・有楽町駅前で削減阻止を訴える緊急街頭宣伝を行いました。全国革新懇の代表世話人を中心に８人が訴えました。発言要旨は次の通り。

民意届けるパイプを細らせる　米山淳子・新日本婦人の会会長

民意を正しく反映しないのが小選挙区制。だから比例代表が欠かせないのに、その比例だけを削るなんてとんでもないことです。民意を届けるパイプを細らせます。女性議員の多くは比例で当選しており、比例削減で女性議員がますます減るという試算もあります。これでは女性が望む選択的夫婦別姓制度などの要求が遠のくのは明らかです。

独裁実現のための大陰謀だ　五十嵐仁・法政大学名誉教授

法案を提出した３党は「身を切る改革」と言いますが、実際は民意を切る改悪です。憲法前文がうたうような、民意を反映した「正当な選挙」にはなりません。そもそも定数削減は、維新が自民を助けるために持ち出したものであり、独裁実現が目的です。民主主義の土台を守るため、断固反対し、廃案に追い込みましょう。

比例削減の立法事実はない　黒岩哲彦・自由法曹団団長

自由法曹団は105年前につくられた団体で、普通選挙実現のためにたたかってきました。今回の法案は法律家として許せず、不当です。議員を減らすことの立法事実がまったくなく、説明もされていないからです。今必要なのは、政治とカネの問題、特に自民党への大企業の献金をやめさせることであり、定数削減ではありません。



定数削減法案の廃案へアピール

自民・維新による党利党略　矢野裕・元東京都狛江市長

法案にはプラス面があるかといえば、答えは「ノー」です。にもかかわらず、世論の賛成が多いのは、働かず、政治を私物化している議員を見てきたからです。比例定数削減でそういう議員は減らず、むしろダメな議員を追及してきた野党の議員が減ることになります。金権体質の自民・維新による党利党略の定数削減をやめさせましょう。



与党の独断専行を招くと訴える矢野さん

戦争への道進める政治に拍車　柴田眞佐子・定数削減反対緊急アクション事務局

高市政権が戦争への道を進めている時に、定数削減なんてとんでもないと女性40人が呼びかけてつくったのが、緊急アクションです。ジェンダ

一平等にとって女性議員は欠かせません。比例削減で女性議員が減れば、女性の政治参画が阻害されます。法案に賛成した国民民主には公開質問状を出しました。廃案に向けてがんばりましょう。

様ざまな価値観での議論が必要　牧伸人・全国商工団体連合会事務局長

戦後、憲法について解説した「新しい憲法のはなし」は、大勢の声で治めるのが民主主義であり、それが一番いいのだと記述しています。素晴らしいことです。少数の声を含め様ざまな価値観で議論することが必要なのに、高市政権は「消費税１％」にこだわり、衆院で押し通すなど、多様な民意を排除する姿勢が露骨です。

政権延命のためのルール変更だ　黒澤幸一・全国労働組合総連合議長

高市政権下で戦前のように国民にものを言わせない状況がつくられています。最低賃金についても、1500 円実現の目標を先送りされてしまいました。物価高の今、ありえない話です。こんな政権を延命させるために選挙のルールを変えるなど許してはなりません。定数は減らすのではなく、むしろ増やすべきです。定数削減反対の声を上げ続けましょう。

国会から民意を締め出す悪法　田村智子・日本共産党委員長

法案は、企業献金禁止や裏金議員追及から議論をすり替えるために、維新が定数削減を持ち出し、自民と結託して進めているもの。少数政党の議席獲得が一層難しくなります。そこで切られるのは、夫婦別姓や同性婚、消費税の恒久減税、軍拡反対、「９条守れ」など多数の国民の声です。国会では、国民民主を除く全野党が反対しています。政治を一層滅茶苦茶にする比例定数削減許すなの声を広げてください。私たちも全力で取り組みます。



遠方から駆けつけてくれた蛙くんたち